

NOSAI さいたま

2024.1 第27号



備えの種を
まこう。

新年のごあいさつ

新年のごあいさつ

農業経営の継続と

安定を支援



組合長理事
福田 和明

新年あけましておめでとうござい
ます。組合員の皆様におかれましては、
健やかに新年を迎えられたことと心よ
りお喜び申し上げます。また、日頃か
ら農業保険事業の運営に格別のご理解
とご協力を賜り、心から感謝申し上げ
ます。

現下の農業経営は、飼料、肥料、燃
油等の高騰による深刻な影響が続いて
おります。昨年は大雨や降ひようによ
る農業関連の被害が発生したほか、夏

本年もよろしく

お願いいたします

副組合長理事 野村三男
副組合長理事 鈴木貞美

理事 小池敏雄

理事 浅見誠次

理事 小島保

理事 鈴木和

理事 川鍋孝

理事 渡邊秋夫

理事 宮澤史明

理事 田端講一

理事 小井戸英夫

理事 戸森貫一

理事 飯島三喜男

理事 松本博道

理事 島田勇

理事 新井敏夫

理事 中沢正巳

理事 杉田孝行

理事 谷澤秀雄

理事 増田晃

代表監事 堀越一男

監事 荒川光明

監事 今井一男

職員一同

の記録的な高温は水稲の品質低下のみならず、牛の乳量減や野菜類の生育不良などを引き起こしました。被害にあわれた皆様には改めてお見舞いを申し上げます。

リスクが多岐にわたる昨今において「収入保険」と「農業共済」の両事業は、農業経営の安定と継続をサポートしております。「農家のためのNOSAI」として、予想外の災害時に力を発揮し、皆様の経営をご支援できるよう努めて参ります。

収入保険の普及推進にあたっては、関係機関のご協力をいただきながら役員一丸となって取り組んでおります。「備えあれば憂いなし」の農業経営体制の構築を目指し、より一層の加入推進に取り組めます。

結びに、組合員の皆様のご健康とご多幸と共に、本年が災害のない穏やかな年となりますようご祈念申し上げます。年頭のごあいさつといたします。

令和5年度全国NOSAI大会が

開催されました

11月28日、東京都・一ツ橋ホールにて令和5年度全国NOSAI大会が開催されました。

大会では、農業保険の総合性を発揮した事業展開で、普及推進に組織を挙げて取り組むとした決議が採択されました。

また、各種表彰が行われ、本県では左記の方々が表彰されました。受賞された皆様には、心から感謝し、お祝い申し上げます。

令和5年度

農業共済功績者表彰

第一号表彰

基礎組織役員として、農業共済事業の運営と進展に協力し、顕著な功績のあった方

中部統括管内

大野 實 (さいたま市)

北部統括管内

市川 典司 (深谷市)

東部統括管内

木村 茂賀 (加須市)

(敬称略)

(所沢市 狭山湖から望む)



▲山田錦の水田で篠塚さんご夫婦



▲加須の舞。フルーティな味わいで、若者にも人気です。自宅用と贈答用の両方で好評です。

「加須の舞」購入の
お問い合わせ

生月酒店

☎0480-68-5002

株式会社 ばっかす

☎0480-62-0003

篠塚さん夫妻は、水稲7畝のうち1.6畝で酒造好適米「山田錦」と「五百万石」を栽培しています。篠塚さんは加須市における酒米生産の第一人者。今年で栽培11年目です。

篠塚さんが代表を務める「加須市酒米生産者協議会」は水稲農家21人が所属しています。年2回、会員が集まって現地検討会を開き、情報交換や農林振興センターの技術支援を受けて品質向上に取り組みんでいます。2022年は特等米の評価を受けました。

酒米は県内の日本酒メーカー7社に出荷しています。同市にある蔵元の株式会社釜屋では、加須市産酒米を100%使った日本酒

「加須の舞」を仕込みます。

山田錦を使用した純米大吟醸と、五百万石を使用した純米吟醸の2種類で、イギリス・ロンドンで開かれた「インターナショナル・ワイン・チャレンジ2020」の日本酒部門では純米大吟醸がゴールドメダルを受賞。フランス・パリで開かれた日本酒コンクール「クワマスター2021」では、純米大吟醸と、純米吟醸のどちらも金賞を受賞しました。

篠塚さんは「たくさんのご縁に支えられて酒米作りをしています。使用してくださる蔵元の期待に応えるため、さらに品質を高めたたいです」と話してくれました。

加須産酒米100%の日本酒

加須市松永新田

篠塚

敏雄さん

(81)
(78)

高品質なベビーリーフを安定供給

熊谷市小曾根 株式会社グリングリン 福井 航さん (43)

株式会社グリングリンでは、連棟ハウス30アールでベビーリーフを水耕栽培しています。ベビーリーフとは発芽後10〜30日程度の幼葉の総称。「ルッコラ」「ピノグリーン」「グリーンロメイン」など15品目を、季節ごとに入れ替えながら常時7品目以上栽培しています。

スポンジ培地に播種して3〜4日間育苗し、発泡スチロール製の水耕パネルに定植します。養液を溜めた栽培ベッドに浮かべて育成し、暑い時期は2週間、寒い時期は1ヶ月ほどで収穫します。葉が薄く茎が細いため、温度変化に弱くデリケートな作物です。



▲ベビーリーフMIX[㊟]とプレミアムリーフ^㊿

品質を保つため、収穫後はすぐに保冷庫で冷やします。その後パック詰めし、袋が潰れないよう段ボールに入れて、出荷まで再度保冷庫で保管しています。

商品は「ベビーリーフMIX[㊟]」、和食向けにシソを配合した「和風ベビーリーフMIX[㊟]」、ベビーリーフより更に若い葉を袋詰めした「プレミアムリーフ」など多数です。福井さんは「環境制御や設備の導入で安定した出荷ができるよう努めています。ハウスの規模拡大が目標です」と意欲的に話してくれました。

株式会社グリングリンHP : <https://www.gringrin.co.jp>

オリジナルのシールで印象的に

入間市宮寺 ぼくらの農園 岩田 浩さん (43)



「うまみが強い」と好評です。袋詰めした野菜は、オリジナルのシールを貼って販売しています。親しみやすさと購入した人の記憶に残ることが狙いだそうです。「食べてくれる人の顔が見えるような、距離の近さを意識しています。食べた感想などを直接聞けるのでやりがいにつながりますね」と話してくれました。

体験農園も実施

ぼくらの農園では体験農園も実施しています。肥料などの資材を配付し、道具も貸し出すので、参加者は準備が不要で、手軽に参加できます。講習は岩田さん自ら行うため「プロに技術を学びながら農業体験ができる」と好評です。

野菜は近隣のスーパーへの納品を中心に、市内で開催するマルシェへの出店と自家販売も行います。人気のトマトは、ハウスでの養液栽培に取り組んでいます。品種は中玉の「フルティカ」と大玉の「かれん」です。直売では完熟果を販売しており「酸味が感じられ、



▲オリジナルのシール。のぼりにも同じデザインを施すことで、目印になります。

青色申告を はじめませんか

収入保険では、青色申告を行っていることが加入要件になっています。青色申告をはじめると、収入保険に加入できる以外にも様々なメリットがあります。また、簡易な方式でしたら白色申告のものを科目別に分類するだけで、簡単に移行できます。

NOSAIでは各支所にて青色申告相談会も開催予定です。ご興味のある方はぜひお越しください。

【青色申告と白色申告のちがい】

項目	白色申告	青色申告
処理の仕方	簡易簿記	・複式簿記（「借方」と「貸方」の両方を記帳していく方式） ・簡易簿記
確定申告時への添付書類	収支内訳書など	青色申告決算書（貸借対照表・損益計算書）など
開始に必要な手続き	なし	「所得税の青色申告承認申請書」を税務署に提出
特別控除額	なし	複式簿記は55万円（e-Taxで申告した場合は65万円） 簡易簿記は10万円
事業専従者に支払う給与の必要経費へ算入控除	できない（事業専従者控除を受けられる）	できる
赤字（純損失）の繰越	できない	3年間できる
収入保険	加入できない	加入できる

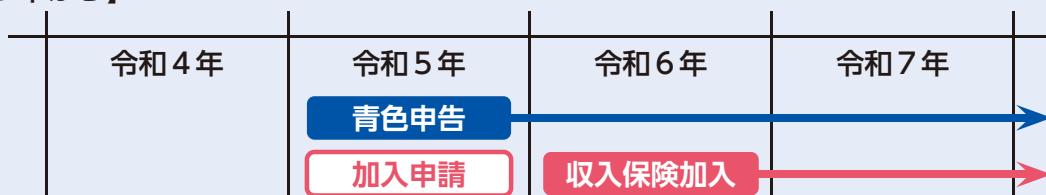
令和6年から

1年分の青色申告実績で収入保険に加入できるようになりました

【令和5年まで】



【令和6年から】



青色申告相談会を 開催します

今年もNOSA Iの顧問税理士・間嶋順一さんをお招きして、相談会を開催します。

青色申告や収入保険制度についてはもちろん、普段聞けない個別の質問をすることも可能です。

ご相談を希望される方は各開催支所へお問い合わせください。

開催場所	所在地	開催日
中部統括支所	川越市大字久下戸3523-1 ☎ 049-235-8711	1月23日(火)
北部統括支所	熊谷市大字三ヶ尻322 ☎ 048-533-8030	2月8日(木)
宮代支所	宮代町大字須賀700-1 ☎ 0480-32-1015	2月9日(金)
東部統括支所	行田市大字下須戸913 ☎ 048-559-1588	2月27日(火)

加入者の 声



神田 新一郎さん (81) 吉見町
時子さん (76)

経営内容 水稻12畝

収入減少を補填

妻と2人で「コシヒカリ」「彩のきずな」など5品種を栽培しています。

5年前に体調不良に見舞われ、田植え直前に入院を余儀なくされました。また、一昨年は妻が肩腱板を負傷し、復帰まで3ヶ月を要しました。減収にならないよう努力をしましたが、いずれの年も想定外の労働力低下に加え、

一昨年は米の価格低下が相まって、収入減少は避けられませんでした。

このような状況で支えになったのが収入保険でした。保険金で収入減を補填でき、大変助かりました。

地域柄、洪水の心配もあるので今後も継続して加入し、幅広いリスクに備えていきたいです。

ひょう害を受け加入

キウイフルーツは「ハイワード」や「レインボーレッド」など5品種を栽培しています。自宅での直売をメインに、道の駅などへの出荷に加え、春日部市のふるさと納税返礼品としても出荷しています。

加入のきっかけは昨年6月に受けたひょう害です。激しい降ひょうにより、園地全体で壊滅的な被

害を受け、傷ついた果実の多くを落とした結果、収穫量は一昨年と比べて10分の1まで落ち込みました。

不測の事態により収入が減少した時の備えとして、今年から収入保険に加入しました。今は安心して栽培に専念できるので、加入して良かったと思っています。



大晴農園

春日部市

園主 斎藤 寛雄さん (75)

経営内容 キウイフルーツ1畝、露地野菜10畝



収穫共済

ナシの火傷病に注意！

リンゴやナシなどに感染する「火傷病」の発生が中国で確認され、病菌の宿主となる植物とその花粉の輸入が停止されました。

病原菌は細菌で、ナシ以外のバラ科植物※にも発生します。

感染した花粉で授粉作業をすると、病気が伝染する恐れがあります。感染した場合、緊急防



▲枝から漏出した火傷病の細菌（西洋ナシ）

除実施基準に基づき、発生地域内の宿主植物の廃棄や伐採など、緊急防除対策が実施されます。

火傷病の発生を防ぐため、中国産花粉をお持ちの方は、使用しないようお願いいたします。 また、自家採取による花粉の確保が必要となります。ご不明な点はお近くの農林振興センターまでご連絡ください。

※バラ科植物：リンゴ、ビワ、マルメロ、ピラカンサス、サンザシなど

火傷病の関連情報

埼玉県HP



▶火傷病の枝枯れ症状（西洋ナシ）

農研機構提供

加入申込がはじまります

各制度共済の令和6年産加入申込が始まります。自然災害への備えとして、収入保険または制度共済へのご加入を願います。制度共済の加入申込期間及び掛金の納入期限は、左下表のとおりです。

おすすめの加入方式

○全相殺方式

乾燥調製施設や売渡し先に全量を出荷している方、白色申告関係書類で収穫量が把握できる方（スイートコーンを除く）におすすめです。

ご自身の出荷に関する資料や、記帳した帳簿の収穫量で損害評価を行うことができ、最高で9割（スイートコーンは8割、なし・ぶどうは7割）の補償が受けられます。

○品質方式（水稲のみ）

売渡し先に水稲を全量出荷しており、品質の低下も補償したい方におすすめです。最高で9割の補償が受けられます。

【加入申込期間・掛金納入期限】

共済目的	加入申込期間	掛金納入期限
麦	加入申込終了	2月29日
なし	2月1日～2月23日	3月8日
ぶどう	3月10日～3月30日	4月15日
スイートコーン	2月10日～3月10日	5月20日
水稲	3月20日～4月30日	7月31日

※水稲共済は地域により申込期間が異なります。



我が家の一品

農家さんの育てた自慢の農産物と、
おいしい食べ方をご紹介します

しっとりホクホク 「サツマイモ」

東宮さんは、サツマイモやトマトなど約25品目の野菜を1.2畝の畑で栽培しています。今回は、東宮さんが子どもの頃から好物の「栗きんとん」のレシピを紹介していただきました。

様々な品種のサツマイモを栽培している東宮さんですが、栗きんとんには「紅はるか」がおすすめだそうです。上品な甘さとホクホクでしっとりした食感が特徴です。

嵐山町鎌形 東宮^{とうみや} 礼佳^{れいか}さん(32)

栗きんとんは、きび砂糖の代わりに白砂糖を使うと、サツマイモの黄色がより鮮やかに出ます。なめらかで濃厚な味わいなので、バニラアイスと一緒に食べるのもおすすめです。

レシピの考案者である母の芳子さん(68)は、家族の健康を考え、普段から素材の味を生かした味付けを心がけているそうです。

東宮さんはサツマイモの収穫体験も実施しています。化学農薬不使用で栽培しているため、除草や防虫などの苦労は絶えませんが、お客さんの笑顔を見ると、また頑張ろうと思えるそうです。「普段農業に触れる機会のない方に、収穫体験を通じて食の大切さを感じてもらえたら嬉しいですね」と話してくれました。

サツマイモを使ったおすすめレシピ♪

栗きんとん

材料 (4人前)

- サツマイモ (紅はるか) …………… 500g
- 栗の甘露煮……………10個程度
- 栗の甘露煮のシロップ……………1/2カップ
- きび砂糖 (白砂糖でも可) …………… 200g
- クチナシの実……………2個

作り方

- ① サツマイモの皮を厚めに剥き、厚さ3cmぐらいに切って水に2～3時間さらす。
- ② クチナシの実をさっと水で洗い半分に切り、ガーゼなどに包む。
- ③ 鍋に水1ℓと①②を入れ中火でゆでる (竹串がすーっと通る柔らかさになるまで煮る)。
- ④ 木べらでサツマイモをつぶし、裏ごしする。
- ⑤ ④を鍋に入れ、きび砂糖を加え弱火にかける。
- ⑥ 全体になめらかさと艶が出てくるまで煮詰める。
- ⑦ 栗の甘露煮と、甘露煮のシロップを加え弱火で5分くらい (⑥のなめらかさ程度になるまで) 煮詰める。
- ⑧ よく冷まして容器に入れ、冷蔵庫で保存 (3～4日は保存可能)。



「まさか!」を「確か!」な補償で守ります



多目的ネットの被覆前に、園芸施設共済に加入して災害に備えましょう。
近年は、被覆後の強風や降雪、降ひょうにより、県内で被害が多発しています。
まだ加入がお済みでない方は、お気軽に各支所までお問い合わせください。



園芸施設共済

多目的ネットハウス
加入受付中

多目的ネットハウスの補償額と掛金の目安

補償期間 12か月、被覆期間 7か月、設置面積 1,000㎡
被覆材(新品) ラッセルネット9mm目、特約 小損害不填補1万円 の場合

本体設置経過年数	付保割合	共済金額 (補償額)	掛金等農家負担額
1年未満	80%	636,424円	6,148円
	100%	795,530円	8,905円
6~7年	80%	528,136円	5,102円
	100%	660,170円	7,388円
14年以上	80%	410,824円	3,968円
	100%	513,530円	5,748円



農機具共済

農機具の保管前には
メンテナンスを!

大切な農機具を長く安全に使用していくためには、使用した後のメンテナンスが重要です。

○農機具についた泥や雑草、わらくず、穀粒などを取り除き、清掃してから保管する。(ネズミなどに配線をかみ切られる事故が発生しています)



○バッテリーの端子を外しておく。

○オイル交換をする。

※取り扱いについては農機具によって異なりますので取扱説明書をよく読んで行ってください。

長期保管の前には必ずメンテナンスを行い、次回使用する際、スムーズに作業が始められるようにしましょう。





家畜共済

診療種別等通知書 保管のお願い

「診療種別等通知書」は獣医師が診療した際に、診療の内容や使用した薬剤などを記載した通知書で、3年間の保管義務があります。

組合より通知書保管用のバインダーを毎年配付していますので、ぜひご活用ください。



損害防止事業

水稻種子温湯消毒を ご活用ください

今年も水稻種子の温湯消毒を実施予定です。温湯消毒は、種もみを60度のお湯に10分浸すことで、農薬を使わずに伝染性のばか苗病、いもち病、もみ枯細菌病等の抑止効果が得られます。

農薬を使わず、環境に配慮した消毒方法です。ご希望の方はお近くの支所までお問い合わせください。



サクサクの揚げおかきを販売する「青木煎餅」をご紹介します

青木煎餅

止められない美味しさ

杉戸町にある青木煎餅は、揚げおかきの専門店です。原材料であるもち米の生産から加工、販売まで自社で行っています。

店内には定番の「しょうゆ」や「青のり」をはじめ、珍しい「サラミ」や「きんぴらごぼう」など様々な味の揚げおかきが35種類以上も所狭しと並んでいます。

また、揚げ油には米油を使用することで美味しさが引き立ち、サクサクした軽い食感で、胃もたれしにくい仕上がりになるそうです。

店主の青木稔さん(49)は「道の駅や農産物直売所でも販売しています。が、店舗限定の味付けもあります。今後、味付けをまだまだ増やすことを目標としているので、ぜひ遊びに来てください」と話してくれました。

※店休日はお電話にてお問い合わせください。

杉戸町鷺巣362-2
営業時間 9~20時
店休日 不定休
電話番号
0480-38-2212



▲店舗

▲店内に並ぶおかき

組合員さんからたくさんご意見をいただきました。ありがとうございます。組合の運営に活かして参ります。

●「我が家の一品」のコーナーで農産物のおいしい食べ方をご紹介いただき、食のレパートリーが広がります。家族もおいしくいただき大喜びです。

60代 女性Tさん（鴻巣市）

●毎回楽しく、新しい情報を実感しながら読んでいます。

60代 男性Uさん（深谷市）

●広報紙、はじめてじっくり読みました。いろいろな情報がのっけておもしろかったです。

60代 女性Sさん（ときがわ町）

●富士見市の星野さんが農福連携や地域活動にも携わっている記事を読み、農業に関心を持つてくれる人が増えることを望みます。

70代 男性Kさん（東秩父村）

●越谷の渋谷さん、38珍びっくりしました。農機を活用すると体力面でも楽になりますよね。

70代 女性Iさん（越谷市）

●農業者の皆さまが消費者のことを常に思っておいしい品物を届けてくださっていることに感謝しております。広報紙を読み若い人たちの元気をいただいで毎日を通して一人です。

70代 女性Hさん（熊谷市）

今後とも、「ご意見よろしくお願ひします。」

表紙のみなさん



右から

牧野 成子さん (43歳)
八木 大輔さん (43歳)
恩田 千年さん (39歳)
戸張 真吾さん (43歳)



松伏町で(株)はちぼくを経営する八木大輔さんは、従業員3名とともに水稲55畝を栽培しています。

「自然との戦いの連続ですが、ピンチも楽しく乗り越え、みんなと仲良く、切磋琢磨しながら営農しています。安心して食べられる事を当たり前として、愛情を込めて育てたお米を食べてもらいたいです」と八木さん。

「インスタグラムで、はちぼくの日常を発信しています。全国の農家さんと繋がりをもちたいので、ぜひ見てください！」と話してくれました。

(株)はちぼくのInstagram ▶▶▶▶

お楽しみクイズ

問題

〇〇に入る文字は何でしょう？

ナシなどに感染する〇〇病の発生が中国で確認された。

ヒントは8ページ

応募方法

はがきに①答え②郵便番号③住所④氏名(ふりがな)⑤年齢⑥電話番号⑦NOSA Iや広報紙へのご意見、ご感想、ご要望などを記入の上、ご応募ください。

応募先

〒330-0835

埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目340番地 NOSA I埼玉広報係 宛

締切り

令和6年2月29日(木) 当日消印有効

正解者の中から抽選で20名様に、杉戸町驚菓「青木煎餅」の揚げおかき詰め合わせをプレゼントいたします。当選者の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。たくさんのご応募お待ちしております。



組合広報紙第25号の答え

答え 12

応募総数 77通

たくさんのご応募ありがとうございました。



宛先としてハガキに貼って活用してください。

〒330-0835 さいたま市大宮区北袋町1丁目340番地 NOSA I埼玉 広報係 行

通常はがき料金は63円です。

